



Guide System for CAMLOG® and CONELOG® SCREW-LINE Implants

カムログガイドシステム スクリューライン

カムログ スクリューライン (K1045. xxxx, K1055. xxxx)
コーンログ スクリューライン (C1065. xxxx)



camlog

目次

カムログ/コーンログ インプラントシステム	2
ガイドシステム	3
プロダクトオーバービュー	4
インプラント	4
外科用インスツルメント	6
外科・補綴共用インスツルメント	7
使用方法	10
様々な手法の概要	10
印象採得	12
口腔内スキャン	12
ワックスアップ・セットアップ模型の製作	13
CT撮影用テンプレートの製作	13
CTデータ解析・インプラントポジションプランニング	14
ドリリング手順	16
標準的なドリル順序	16
外科手術 手順	18
インプラント埋入	18
外科手術	20
パッケージとインプラントの取り扱い	25
インプラント埋入	28
治癒	33
治癒段階と患者への情報提供	33
粘膜下治癒 (2回法)	33
歯肉貫通式 (1回法) カムログ ジンジバフォーマー	34
歯肉貫通式 (1回法) コーンログ ジンジバフォーマー	35
カムログ ジンジバフォーマー	36
コーンログ ジンジバフォーマー	38
ジンジバフォーマーの使用に関する補足説明	39
軟組織の成長/軟組織のサポート	41

カムログ / コーンログ インプラントシステム

カムログおよびコーンログインプラントシステムは長期の臨床と技工の経験に基づくユーザーフレンドリーで且つ一貫した補綴主導のインプラントシステムです。

カムログおよびコーンログインプラントシステムについてカムログ社研究開発チームと臨床家、大学、歯科技工士との協力のもと、最新の技術による開発が続けられています。

カムログおよびコーンログインプラントシステムは豊富な文献によってサポートされています。例えばインプラント表面性状、インプラント埋入のタイミング、インプラントの負荷、初期固定、連結様式のデザイン、上部構造のタイプなど様々な分野における膨大な研究などです。

また、カムログおよびコーンログインプラントシステム共通の表面性状であるプロモートの長期的な予後も説得力があります。

注意

本カタログを読むだけではカムログ / コーンログインプラントシステムをすぐに使用するには十分ではありません。




カムログ / コーンログインプラントシステムに精通した術者によるオリエンテーションを受けることを推奨します。カムログ / コーンログ製品の使用はインプラントシステムのトレーニングを受けた歯科医師、口腔外科医および歯科技工士に限ります。

株式会社アルタデントでは適切に使用いただくための研修会やトレーニングコースなどを行っていますので担当者にご相談ください。

間違った使用方法はインプラントやインプラント周囲骨の喪失につながります。

このカタログの画像は参照のみを目的としており、実際の製品とは異なる場合があります。

外科・補綴の色分けについて CAMLOG®/CONELOG® 製品

	カラー	直径
	グレー	3.3 mm
	イエロー	3.8 mm
	レッド	4.3 mm

ガイドシステム

はじめに

ガイドシステムのパーツ類は、部分欠損または無歯顎の上下顎骨において、テンプレートを用いてカムログ/コーンログ スクリューラインインプラントを埋入するための埋入窩形成とインプラント体の埋入を行うために使用されるものです。

製作されたドリリングテンプレートは以下のように使用できます。

- a) 埋入オペ前に、模型や暫間補綴物を作成する際の、インプラントアナログの位置決め用として
- b) 埋入窩を形成する際の外科用インストルメントのガイドとして
- c) ガイドスリーブを用いたインプラント体の埋入用として

ガイドシステムには以下のパーツが含まれます。

- CT 撮影用テンプレートをドリリング用テンプレートに変換するためのラボ用インストルメント
- 骨あるいは歯周組織支持でテンプレートを安定させて、インプラント窩の形成とインプラント体を埋入するための外科用インストルメント

スクリューラインガイドシステムは、インプラントの直径 3.3mm、3.8mm、4.3mm に対応しています。

補綴処置は、シングルクラウン・ブリッジ・フルマウス等さまざまな対応が可能です。

ガイドシステムを使用するためには、歯科医院 / 技工所に適切な 3D プランニングソフトが導入されている必要があります。対応可能なプランニングソフトに関しては、株式会社アルタデントまでお問い合わせください。

重要事項


- ALTATEC 社 /CAMLOG Biotechnologies 社は、プランニングとそのデータのドリリングテンプレートへの移行に関するすべての事項に対して責任を負いません。ガイドシステムを使用する前に、ユーザーは 3D プランニングシステムとそれに使用されるポジショナーに関して十分に周知しておく必要があります。
- プランニングシステムの中には、粘膜支持タイプのドリリングテンプレートだけが可能な場合があります。しかし、解剖学的条件により正しい位置決めを行うことが困難なので、CAMLOGはそのようなテンプレートは推奨しません。加えて、粘膜の弾力性により、ドリリングテンプレートの位置がずれてしまい、不正確になる可能性があります。

プロダクトオーバービュー

インプラント

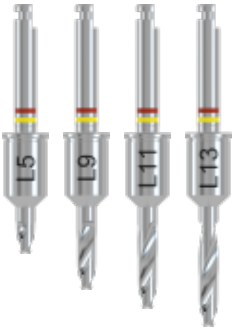

	商品名	商品コード	Ø	L	A Ø		
	スクリューインプラント プロモート (スクリューマウント) ヒーリングスクリュー付 材質 チタングレード4	K1045.3311	3.3 mm	11 mm	2.7 mm		
		K1045.3313		13 mm			
		K1045.3316		16 mm			
		K1045.3809	3.8 mm	9 mm	3.5 mm		
		K1045.3811		11 mm			
		K1045.3813		13 mm			
		K1045.3816		16 mm			
		K1045.4309	4.3 mm	9 mm	3.9 mm		
		K1045.4311		11 mm			
		K1045.4313		13 mm			
		K1045.4316		16 mm			
			スクリューインプラント プロモートプラス (スクリューマウント) ヒーリングスクリュー付 材質 チタングレード4	K1055.3311	3.3 mm	11 mm	2.7 mm
				K1055.3313		13 mm	
K1055.3316	16 mm						
K1055.3809	3.8 mm			9 mm	3.5 mm		
K1055.3811				11 mm			
K1055.3813				13 mm			
K1055.3816				16 mm			
K1055.4309	4.3 mm			9 mm	3.9 mm		
K1055.4311				11 mm			
K1055.4313				13 mm			
K1055.4316				16 mm			

インプラント

	商品名	商品コード	Ø	L	A Ø
	コーンログインプラント (スクリューマウント) ヒーリングスクリュー付 材質 チタングレード4	C1065.3309	3.3 mm	9 mm	2.7 mm
		C1065.3311		11 mm	
		C1065.3313		13 mm	
		C1065.3316		16 mm	
		C1065.3807	3.8 mm	7 mm	3.5 mm
		C1065.3809		9 mm	
		C1065.3811		11 mm	
		C1065.3813		13 mm	
		C1065.3816		16 mm	
		C1065.4307	4.3 mm	7 mm	3.9 mm
		C1065.4309		9 mm	
		C1065.4311		11 mm	
		C1065.4313		13 mm	
		C1065.4316		16 mm	

プロダクトオーバービュー

外科用インスツルメント






	商品名	商品コード	Ø	L		
	カムログガイド パイロットドリルセット (内部注水) 材質 ステンレススチール	J5063.3309*	3.3 mm	セット内容 5・9mm		
		J5063.3311		セット内容 5・9・11mm		
		J5063.3313		セット内容 5・9・11・13mm		
		J5064.3316**		16 mm		
		J5063.4307*	3.8 mm	3.8 mm	セット内容 5・7mm	
		J5063.4309		4.3 mm	セット内容 5・9mm	
		J5063.4311	3.8 mm	3.8 mm	セット内容 5・9・11mm	
		J5063.4313		4.3 mm	セット内容 5・9・11・13mm	
		J5064.4316**	3.8 mm	3.8 mm	16 mm	
				4.3 mm		
			カムログガイド フォームドリルセット (内部注水) 材質 ステンレススチール	J5065.3309*	3.3 mm	セット内容 5・9mm
				J5065.3311		セット内容 5・9・11mm
J5065.3313	セット内容 5・9・11・13mm					
J5066.3316**	16 mm					
J5065.3807*	3.8 mm			3.8 mm	セット内容 5・7mm	
J5065.3809				3.8 mm	セット内容 5・9mm	
J5065.3811				3.8 mm	セット内容 5・9・11mm	
J5065.3813	3.8 mm			3.8 mm	セット内容 5・9・11・13mm	
J5066.3816**				3.8 mm	16 mm	
J5065.4307*	4.3 mm			4.3 mm	セット内容 5・7mm	
J5065.4309				4.3 mm	セット内容 5・9mm	
J5065.4311				4.3 mm	セット内容 5・9・11mm	
J5065.4313				4.3 mm	セット内容 5・9・11・13mm	
J5066.4316**				4.3 mm	16 mm	

*コーンログスクリューラインインプラントのみ。

** インプラントの長さが16 mmの場合、予め13 mm のガイドシステムのパイロットドリルまたはフォームドリルを使用する必要があります。

注意: ガイドシステムのドリルとジンジバパンチはすべて単回使用です。

外科・補綴共用インスツルメント

	商品名	商品コード	Ø	L
	カムログガイド コーチカルボンドリル (内部注水) 材質 ステンレススチール	J5068.3311	3.3 mm	11 mm
		J5068.3313		13 mm
		J5068.3316		16 mm
		J5068.3807	3.8 mm	7 mm
		J5068.3809		9 mm
		J5068.3811		11 mm
		J5068.3813		13 mm
		J5068.3816		16 mm
		J5068.4307		4.3 mm
		J5068.4309	9 mm	
		J5068.4311	11 mm	
		J5068.4313	13 mm	
		J5068.4316	16 mm	
	カムログガイド ジンジバパンチ 材質 ステンレススチール	J5041.3303	3.3 mm	
		J5041.3803	3.8 mm	
		J5041.4303	4.3 mm	
	ガイドスリーブ 2入り 材質 チタン合金	J3734.3303	3.3 mm	-
		J3734.3803	3.8 mm	-
		J3734.4303	4.3 mm	-
	カムログ デジタルインプラントアナログ 材質 チタン合金	K3025.3300	3.3 mm	-
		K3025.3800	3.8 mm	
		K3025.4300	4.3 mm	
	コーンログ デジタルインプラントアナログ 材質 チタン合金	C3025.3300	3.3 mm	-
		C3025.3800	3.8 mm	-
		C3025.4300	4.3 mm	-

* ガイドシステムのドリル、ジンジバパンチ、スリーブはすべて単回使用です。

プロダクトオーバービュー

外科・補綴共用インスツルメント

	商品名	商品コード	Ø	L
	デジタルインプラントアナログ ハンドル 材質 ステンレススチール	J3025.0010	3.3 mm	-
			3.8 mm	
			4.3 mm	
	埋入ツール 手用/ラチェット用 エクストラショート 材質 ステンレススチール	J5300.0031	-	13.7 mm
	埋入ツール 手用/ラチェット用 ショート 材質 ステンレススチール	J5300.0032	-	19.2 mm
	埋入ツール 手用/ラチェット用 ロング 材質 ステンレススチール	J5300.0033	-	24.8 mm

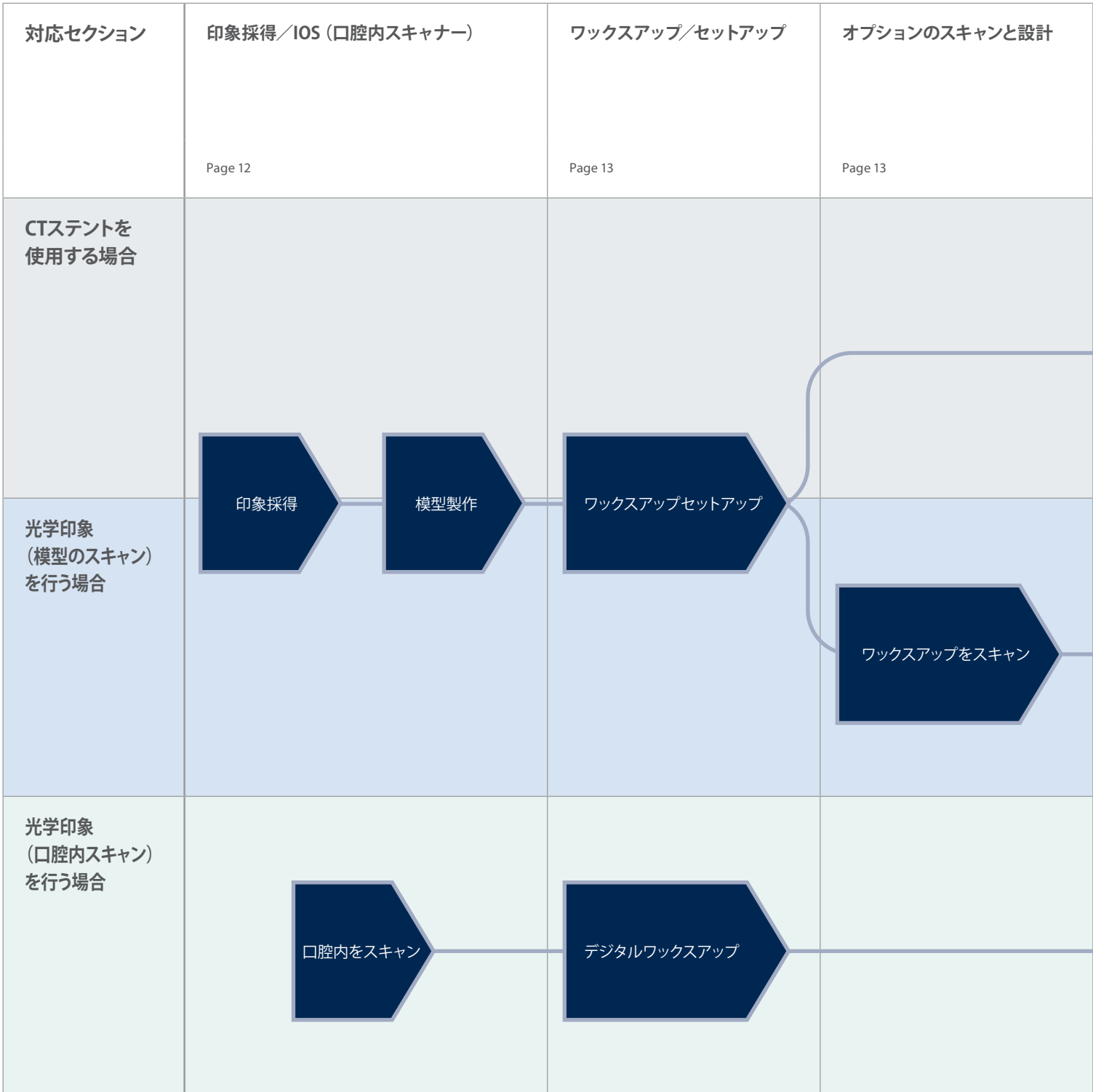
外科・補綴共用インスツルメント

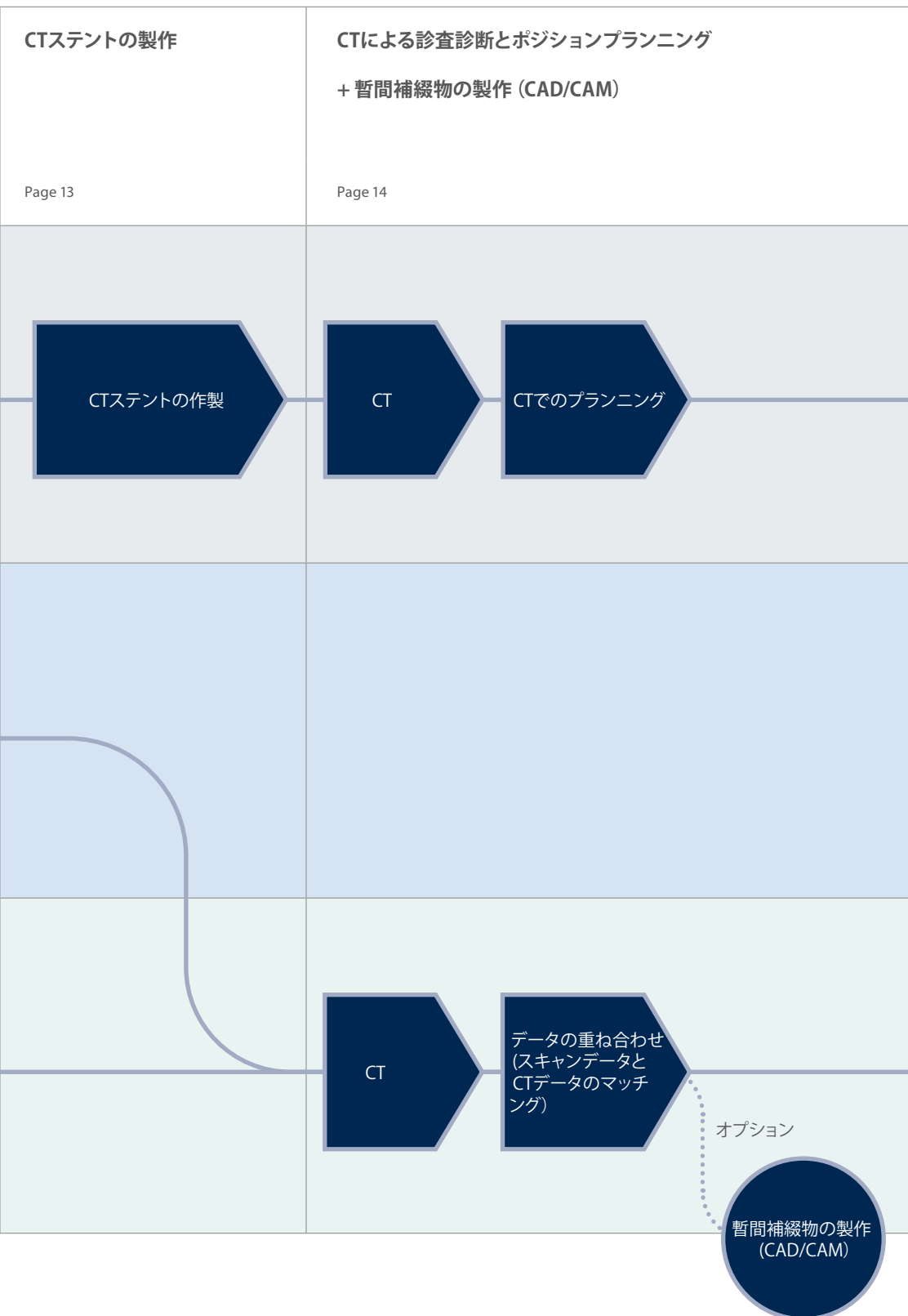
	商品名	商品コード	Ø	L
	埋入ツール CA用 ショート 材質 ステンレススチール	J5300.0036	-	19.1 mm
	埋入ツール CA用 ロング 材質 ステンレススチール	J5300.0037	-	28.2 mm
	ドリルエクステンション (内部注水) 材質 ステンレススチール	J5002.0005	-	26.6 mm
	トルクラチェット 10、20、30Ncm目盛付 材質 ステンレススチール	J5320.1030	-	-
	HEXスクリュードライバー 0.05インチ 手用/ラチェット用 エクストラショート 材質 ステンレススチール	J5317.0510	-	14.5 mm
	HEXスクリュードライバー 0.05インチ 手用/ラチェット用 ショート 材質 ステンレススチール	J5317.0501	-	22.5 mm
	HEXスクリュードライバー 0.05インチ 手用/ラチェット用 ロング 材質 ステンレススチール	J5317.0502	-	30.3 mm
	ユニバーサルリングレンチ 材質 ステンレススチール	J5302.0010	-	-

使用方法

(OVERVIEW OF APPLICATION OPTIONS)

様々な手法の概要





使用方法

印象採得

A. 安定性が得られる部分欠損症例の場合

既存歯の状況が、X線テンプレートの安定が十分に得られる部分欠損症例の場合は、通常の影響採得を行い、模型を作成します。従来の印象採得に代わるものとして、光学印象でも作成が可能です。

B. 無歯顎もしくは安定性が得にくい部分欠損症例の場合

無歯顎症例や、残存歯だけではX線テンプレートの安定が得られない部分欠損症例の場合は、適切な本数（無歯顎の場合は最低3本）の暫間インプラントを埋入し、その後それを利用して正確にX線テンプレートを口腔内に固定します。高い機械的安定性が得られるように、そして後に埋入する最終インプラントの妨げにならないように、暫間インプラントの位置決めを行います。暫間インプラントは、咬合採得やCTスキャンまたその他の骨を基準とする手法を用いる際、X線テンプレートやドリリングテンプレートを再現性をもって口腔内に装着するために使用します。

3Dプランニングシステム取扱い会社では、骨支持あるいは粘膜支持のドリリングテンプレートの作成を提供しています。詳しくは、ご使用の3Dプランニングシステム取扱い会社にお問い合わせください。

口腔内スキャン

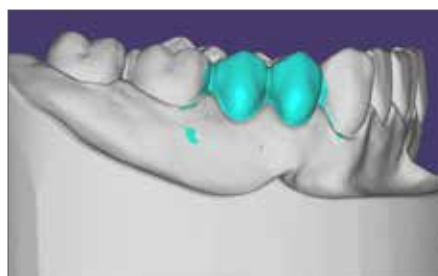
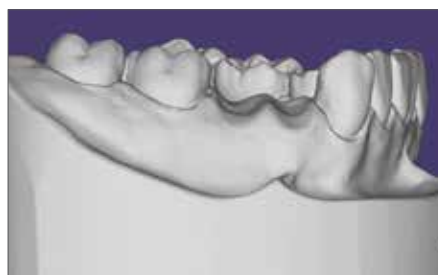
従来のシリコーンによる印象に代わり、口腔内スキャンを使用することも可能です。

ワックスアップ・セットアップ模型の製作

補綴計画に基づいて適切な歯牙ポジションになるように、歯牙のワックスアップ/セットアップを模型上で行います。

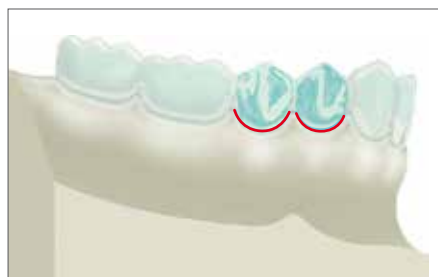
ワックスアップ/セットアップ模型は、スキャニングをしてCADソフトを用いて補綴物を設計する際に使用します。

ワックスアップ/セットアップ模型を作成する代わりに、CADソフトを用いてバーチャルワックスアップで歯牙を構成することも可能です。



CT 撮影用テンプレートの製作

X線テンプレートは機能的で、透明なレジンでの作成が望ましいです。事前に作成したテンプレート上の欠損歯牙部分をX線造影性のある材料（少なくとも15-20%の硫酸バリウム含有）で充填します。この手法で欠損歯牙部位を充填・再現する場合は、正確な歯肉の高さを再現するために、移行的に歯肉（図参照）ラインをデザインしておきます。



注意事項

X線テンプレート作成に関する詳しい情報は、3D プランニングソフトのメーカーへお問い合わせください。

使用方法

CT データ解析・ インプラントポジションプランニング

A. X線テンプレートの使用

X線テンプレートは、残存歯牙、または暫間インプラント上に装着します。暫間インプラントは、十分な初期固定が得られている必要があります。X線断層撮影 (CT/DVT) は、正確かつ確実にテンプレートを装着して行います。撮影後に、CT または DVT から得られるデータを、3D プランニングソフトウェアへ移します。

B. 光学スキャンデータと X 線スキャンデータのマッチング

選択したいくつかのマッチングポイントにより、ワックスアップ模型のスキャンデータ、口腔内模型のスキャンデータならびに X 線断層撮影データを重ね合わせることができます。これらの手法により、解剖学的・外科的・補綴的要件を満たしたプランニングが可能になります。

3D ソフトウェア上でインプラントの位置が決定されれば、ドリリングテンプレート上でのガイドスリーブの位置決めとアライメントのためのデータの準備が整います。

注意

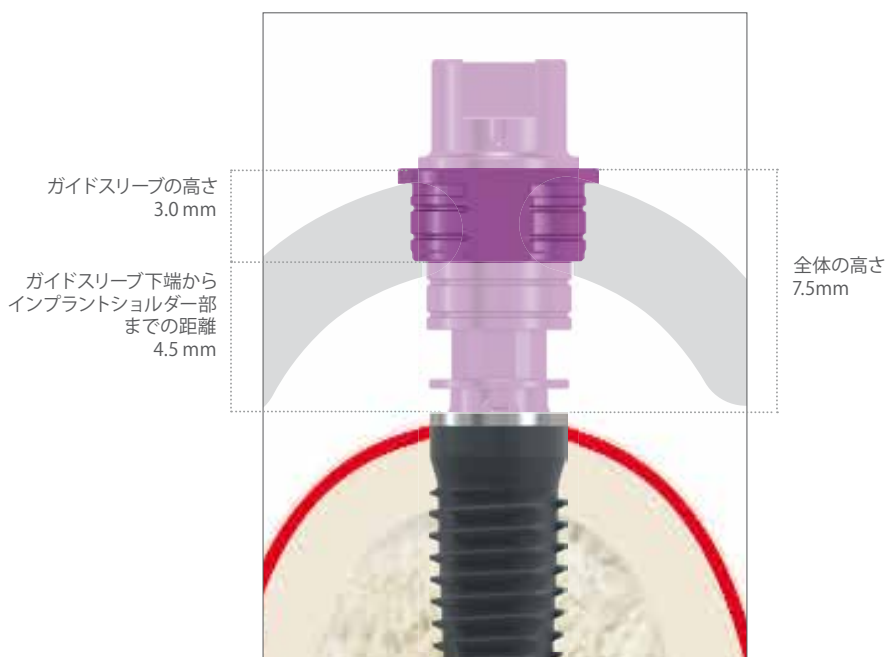
プランニングの際は、歯牙ならびに生活組織から適切な安全マージンを確保しなければなりません。神経または生活組織に損傷を与える可能性がありますので、下歯槽神経から 1.5mm の安全マージンを確保してください。

十分な骨 (少なくとも 1.0mm がインプラントのまわりに存在するようにします) を残すようにインプラントの直径と長さを決定します。隣接した天然歯へは 1.5mm 以上、隣接したインプラントへは 3.0mm 以上の距離を確保してください。

プランニングソフトウェア上で配慮すべき寸法関連 (ソフトウェア上に反映されていない場合のみ)

- インプラントショルダークからガイドスリーブ上端面までの距離: 7.5mm
- ガイドスリーブの厚さが 3mm のため、歯肉部分は 4.5mm 厚まで対応 (7.5mm-3.0mm=4.5mm)
- 旧バージョンガイドスリーブは厚さが 4mm のため、歯肉部分は 3.5mm 高さ 7.5mm を超えてはいけません! ドリリングの深さやインプラント位置の誤りを引き起こす恐れがあります!

プランニング上でガイドスリーブの基底面が軟組織内にある場合は、テンプレートの術中の位置が確保されるまでフラップを開けることが必須です。



ドリリング手順

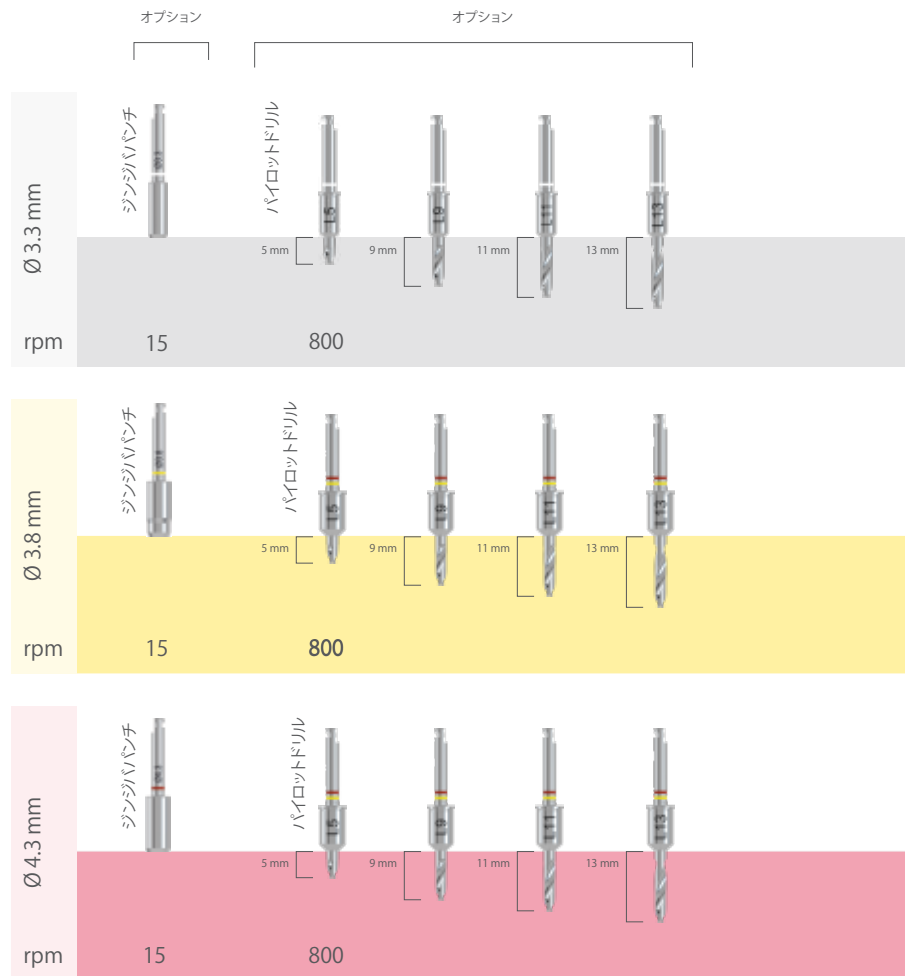
標準的なドリル順序

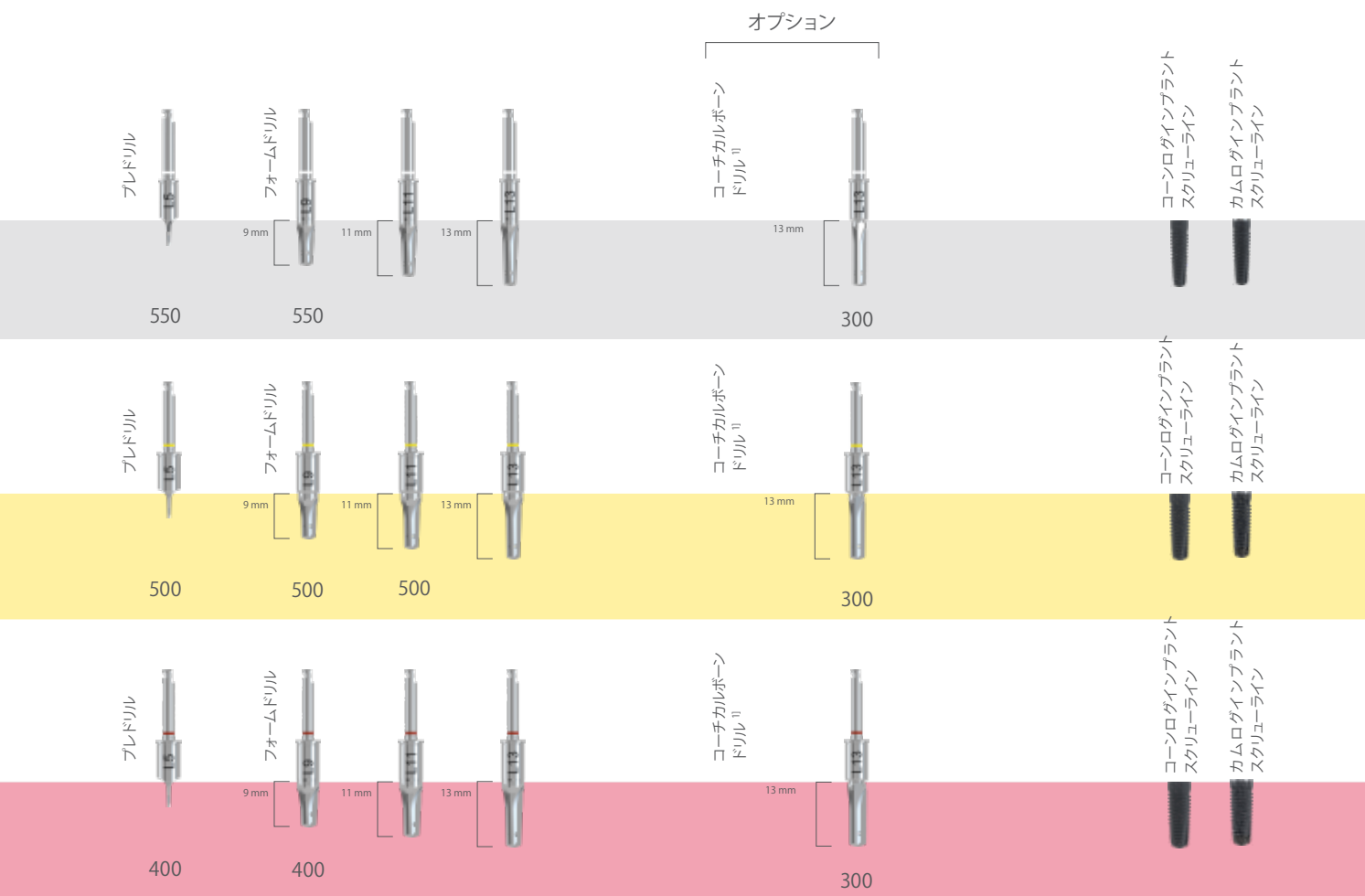
例) カムログ / コーンログ スクリューインプラント
長さ 13mm の埋入窩形成

スクリューラインインプラントの埋入窩形成の概要を以下に示します。

- ジンジバパンチ (オプション) を使用してインプラントポジションに穴をあけるか、通法に従いフラップ形成を行います。
- 直径 \varnothing 2.0 mm のパイロットドリルを使用し、ドリルの長さの短いものから順に、目的のフィクスチャの長さまでドリリングを行います。(オプション)
- ガイドシステムのプレドリルを使用して、プレドリリングを行います。(必須)
- フォームドリルを使用して、短いものから順に目的のフィクスチャの長さまでドリリングを行います。
- コーチカルボンドリルを使用します。1]

1] 骨質 1 および 2 の場合、埋入トルクを下げるためには、コーチカルボンドリルを使用します。





外科手術 手順

インプラント埋入

インプラント埋入窩の形成

ガイドサージェリー用ドリリングテンプレートを口腔内に装着します。この際、ステントが安定した状態で装着されたことを確認してください。埋入するインプラントサイズに対応する外科用インスツルメントを選択し、ステントのガイドスリーブを通してインプラント埋入窩を形成します。

テンプレートの装着と歯肉の準備

清掃・消毒（できれば滅菌）されたドリリングテンプレートを口腔内にセットし、安定した状態で装着されているか確認します。無歯顎や残存歯の状態が良好でない場合は、装着を確実なものにするため、あらかじめ埋入しておいた暫間インプラント上に装着します。残存歯の状態が良好な部分欠損の場合は、その残存歯にレストを設けます。

テンプレートを正しい位置へ装着する際に、フラップが妨げとならないようにします。

パイロットドリル、プレドリル、フォームドリルによる切削

- ドリルの刃の部分ガイドスリーブに当たることを避けるため、ドリルを挿入してドリルシャフトのシリンダー部分（刃付けの無い部分）がガイドスリーブの内面に接するまで、ドリルを回転させないでください。
- パイロットドリル、プレドリル、フォームドリルは断続的に使用します。たとえば、2～3秒骨を切削した後、ドリルを回転させたまま少し引き抜きます。これを繰り返して適切な深さに到達するまで切削します。
- ドリリングは、あらかじめ冷蔵保存した滅菌生理食塩水（5℃）を用いた適切な冷却下で行う必要があります。ドリリングは段階的に長いものへ移行していきます。
- ドリルは、長さの短いものから長いものへ順に使用します。

ドリルスピードとジンジバパンチ

ドリルの種類と直径に応じて、最高回転数 (300 ~ 800 rpm) が規定されています。(コントラアングルの減速比 16:1 ~ 20:1)。
ジンジバパンチの最大回転数は 15rpm です。

ドリルの冷却

ドリリングは、あらかじめ冷蔵保存した滅菌生理食塩水 (5℃) を用いて冷却下で行います。

商品	Ø	最大回転数 (rpm)
カムログガイド ジンジバパンチ	-	15
カムログガイド パイロットドリル	2.0 mm	800
カムログガイド プレドリル	3.3 mm	550
	3.8 mm	500
	4.3 mm	400
カムログガイド フォームドリル	3.3 mm	550
	3.8 mm	500
	4.3 mm	400
カムログガイド コーチカルボンドリル	3.3 mm	300
	3.8 mm	300
	4.3 mm	300

外科手術

例) カムログ スクリューラインインプラント
 Ø 4.3 mm, L 13 mm の埋入

ジンジバパンチ (オプション)

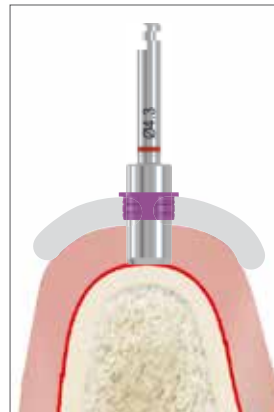
フラップを形成する代わりに、カムログガイド ジンジバパンチを用いて、ガイドスリーブを通してインプラント埋入予定位置上の歯肉を切除することが可能です。回転数は 15rpm を超えないようにしてください。

インプラント窩形成時に結合組織の巻き込みを防ぐため、残った歯肉はドリリングする部位から完全に取り除く必要があります。また、必要に応じて、周辺歯肉を剥離しておきます。

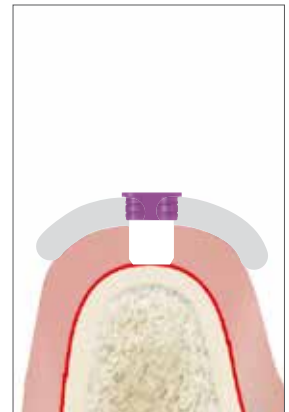


ジンジバパンチ
 Ø 4.3 mm

最大回転数 15rpm



ジンジバパンチの使用



パンチアウトされた歯肉片の除去
 ジンジバルプラグ

パイロットドリル (オプション)

A. ボーン コンデンセーション

インプラント埋入予定箇所の骨質が十分でない場合は、まず 2.0mm 径のパイロットドリルを用いて形成します。その後、オステオトームを用いて側方に拡大し、周囲骨を圧縮します。この圧縮により、インプラント埋入時の初期固定が獲得しやすくなります。

B. バイコーチカル埋入 / 抜歯即時埋入

バイコーチカルインプラント埋入や抜歯即時インプラント埋入の際は、最初にパイロットドリルを使用して形成することにより、フォームドリルの先端が皮質骨や歯槽骨壁に当たって流れてしまうことを防げます。パイロットドリルは、フォームドリルの追加的な先導役となるわけです。パイロットドリルは、埋入予定のインプラントの長さに合わせて、順に長いものへと移行していきます。パイロットドリルには、5、7、9、11、13mm の長さが用意されています。



長さ

5 mm

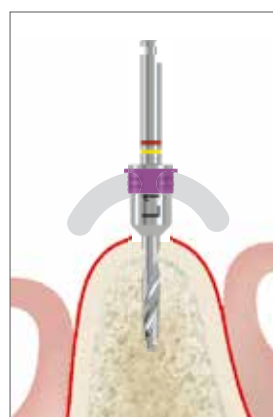
9 mm

11 mm

13 mm

カムログガイドパイロットドリル Ø2.0 mm

インプラントサイズ Ø 4.3 mm、L 13 mm の場合
目的のフィクスチャの長さまで短いものから順にドリリングを行います。
最大回転数 800 rpm



内部注水によるパイロットドリル

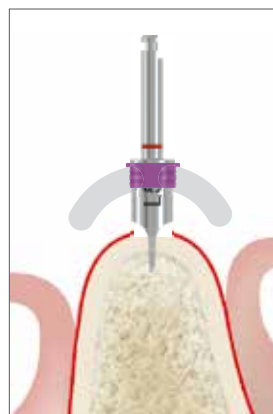
外科手術

ブレードドリル

皮質骨へのドリリングは、内部注水機構を持つカムログガイド ブレードドリルで行います。パイロットドリルでの形成をスキップした場合は、このブレードドリルが、後続のドリルとインプラントの角度を決定することになります。



ドリル長さ：5.0 mm
 最高回転速度：
 Ø 3.3 mm：550 rpm
 Ø 3.8 mm：500 rpm
 Ø 4.3 mm：400 rpm



ドリル長さ：5mm

内部注水によるブレードドリル

フォームドリル

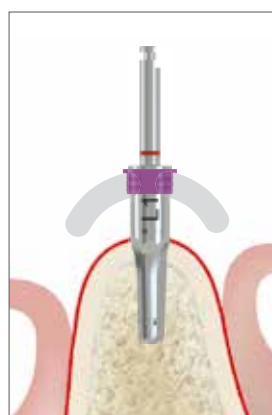
ブレドリルによる形成の後、同じく内部注水機構を持つカムログガイド フォームドリルで、段階的に長くしながらインプラント窩を形成していきます。(7 → 9 → 11 → 13 → 16mm)



長さ
9 mm 11 mm 13 mm 16 mm

カムログガイド フォームドリル、 $\varnothing 4.3$ mm

目的のフィクスチャの長さまで短いものから順にドリリングを行います。



ドリル長さ : 13mm

内部注水によるフォームドリル

外科手術

コーチカルボンドリル (オプション)

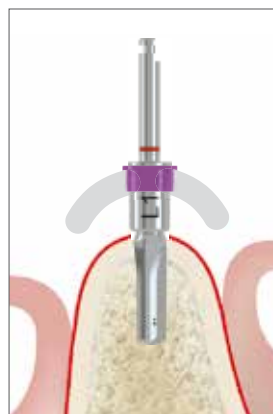
インプラント埋入窩の形成の際、主に皮質骨 (骨質 1 および 2) であることがわかった場合、コーチカルボンドリルを使用して埋入窩の根尖部を広げることができます。

これにより、インプラントの埋入時のトルクを減少させることができます。

インプラント埋入前に、埋入窩内の切削粉等 (ドリルの刃がガイドスリーブに接触することにより発生) を滅菌された生理食塩水で洗浄してください。



長さ : 13 mm



コーチカルボンドリル

パッケージとインプラントの取り扱い

注意事項

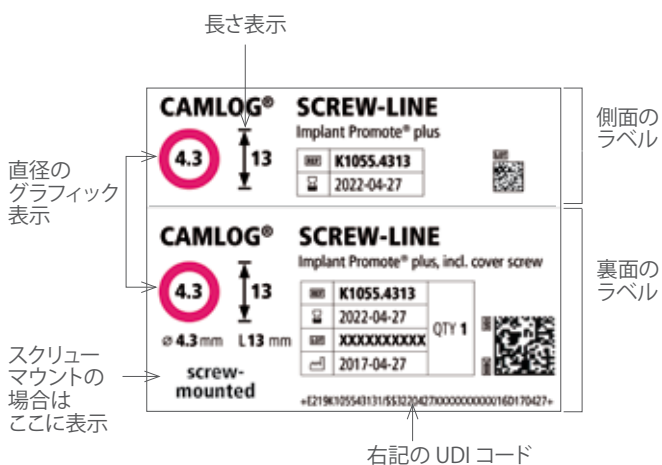
以下、カムロゲインプラントとコーンロゲインプラントに関するインプラントのパッケージとインプラントの取り扱いは、カムロゲインプラントのみを基に説明します。

インプラントパッケージの取り扱いに関する一般情報

A) パッケージとラベル:

パッケージのラベルには、関連するシステム情報が含まれているラベルが、3つの側面に貼られています。これにより、パッケージが積み重ねられても、ラベルがはっきりと読み取れます。

例) スクリューラインインプラント (スクリューマウント) のパッケージの製品ラベル



UDI Code

A B C DEF G H I J K

ⓂE219K105543131 / \$\$B220427XXXXXXXXXX / 16D170427+

セクションの一次コード (UDI-DI)	Code	説明
A	+	Protected HIBC-ID (1 桁)
B	E219	メーカーコード (ALTATEC)
C	K10554313	商品コード (最大 13 桁)
D	1	数量指標 (梱包数単位、1 桁)
セクション二次コード (UDI-DI)	Code	説明
E	/	セパレーターの一次/二次
F	\$\$3	有効期限の識別子
G	220427	有効期限 (6 桁) 27.04.2022
H		メーカーのバッチ (10 桁)
I	/16D	製造年月日の識別記号
J	170427	製造年月日 (6 桁) 27.04.2017
K	+	可変テストマーク

パッケージの詳細:

パッケージの底面には、Web 上で IFU を閲覧できるアドレスが記載されています。 <https://ifu.camlog.com> さらに、対応するインターネットページに直接リンクする QR コードが印刷されています。



パッケージの左側面には、CE 表示、警告、および製造元の住所が記載されています。



外科手術

B) ブリスターパック:

ブリスターパックは一次包装で、その内容品は滅菌済みです。フィクスチャとカバースクリューがセットされたインプラントホルダーが収納されています。さらに、パッケージの中にはカルテ貼付用のインプラントインフォメーションラベルが4枚入っています。例えば、患者カルテ記録、ペイシエントパス、紹介等に使用できます。より早く識別できるように、直径情報もカラーコードで強調表示されています。



重要な注意事項

製品情報シールのうち1枚は、患者個人のペイシエントパスに貼付し、患者に渡します。

- C) フィクスチャとカバースクリューを備えたインプラントホルダー:
インプラントホルダーは、フィクスチャとカバースクリューをしっかりと保持します。インプラントホルダーのシンプルなクリック機構により、フィクスチャとカバースクリューを確実に取り外すことができます。
さらに、インプラントホルダー内のフィクスチャは一次包装を取り除いた後でも明確に識別できます。
インプラントの直径は、インサージョンポストとカバースクリューの色分けで識別できます。

D) インサージョンポスト スクリューマウント:

インサージョンポストは、フィクスチャにしっかりとねじ止めされており、二次包装のラベルに記載されています(29 ページ参照)。スクリューマウントのインサージョンポスト部はカラーコードされており、フィクスチャと連結され固定されています。埋入後、インサージョンポストのフィクスチャへのねじ止めを取り外し、インサージョンポストをフィクスチャから取り外します。



E) 埋入ツール:

インプラントは、ネジ止めされたインサージョンポストを介して、埋入ツールで直接ピックアップし、インプラントホルダーから取り外すことが可能です。

右図にある5種類の埋入ツールがあります。

ロングタイプの埋入ツールは、狭くて深い解剖学的状況でのフィクスチャの埋入を可能にします。

トルクラチェットで使用する3つの手用埋入ツール
(ロング、ショート、エクストラショート)



コントラアングルハンドピースで使用するISOシャフト付き埋入ツール
(ロングおよびショート)



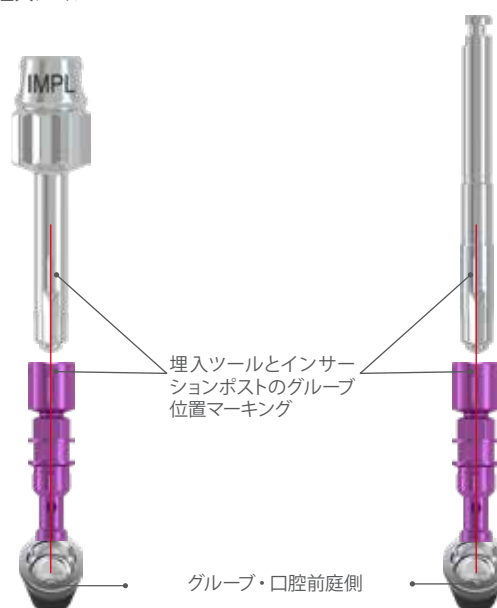
埋入ツールをご使用の際は、以下の点にご注意ください。

埋入ツールとインサージョンポストには、フィクスチャの3つのグループに対応するマーキングがされています。これらにより、埋入中のグループの位置と、補綴に必要な向きを確認できます。

歯科技工士がグループの位置を指定している場合でなければ、グループの1つを口腔前庭に向けてフィクスチャを埋入すると、アングルタイプのアバットメントを使用する際適切に対処できます。

手用 / ラチェット用
埋入ツール

CA用埋入ツール



インプラント埋入

パッケージの開封と清潔域へのインプラントホルダーの移動

パッケージは、タブをミシン目で切り取り外箱を開けます。

注意

タブが部分的または完全に開いている場合、包装は損傷しているとみなされ、インプラントは使用できなくなります。



パッケージに含まれる 4 枚のインフォメーションラベルは、下記の目的に使用できます。

- 患者カルテ記録
- ペイシエントパス
- 紹介状等

ブリスターと裏紙に損傷がない限り、内容物の無菌性は保証されます。



ブリスターの開口部：

ブリスターには 2 つの角にタブが付いており、裏紙をブリスターから外すことができます。



インプラントホルダーを清潔域に移動する方法は 2 つあります。
(A および B)：

A：インプラントホルダーごと滅菌トレーに取り出す方法

マーキング部を 2 本の指ではさみ、両側から押さえます。

2 本の指で押さえることにより、インプラントホルダーがブリスターパックに維持されます。

指の圧を緩めインプラントホルダーを滅菌トレー上に落とします。



B: インプラントホルダーを術者に直接手渡す方法

裏紙を剥がしたプリスターパックを術者に差し出します。

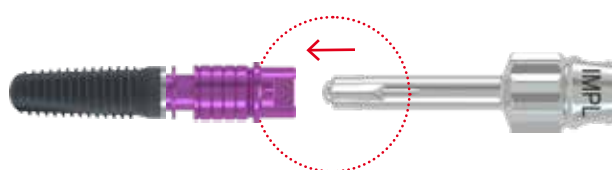
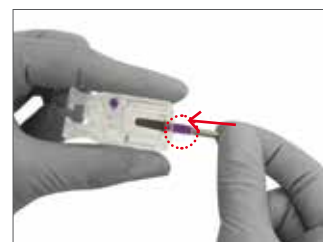
術者は、プリスターパックからインプラントホルダーを2本の指でピックアップします。

インプラントホルダーを清潔域で使用できます。

インサージョンポストの装着されたフィクスチャを手用埋入ツールでピックアップ

インプラントホルダーの前の部分(フィクスチャが保持されている側)を2本の指ではさむように保持します。

滅菌済みの埋入ツールをインサージョンポストにしっかり押し込みます。



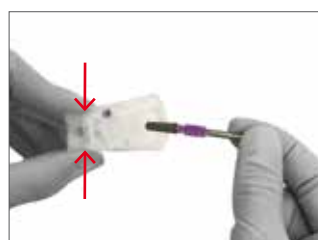
埋入ツールを強く押し、確実に装着する!

インサージョンポストと埋入ツールそれぞれに付けられた3つのカム溝の位置を示すマーキングが合致していることを確認します。



インプラントホルダーの後ろ部分を保持し両側から力を加えフィクスチャのロックを外します。

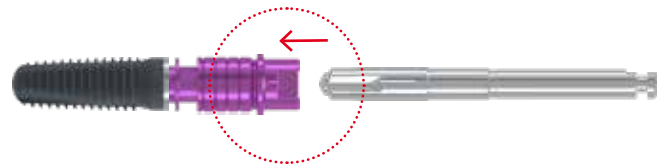
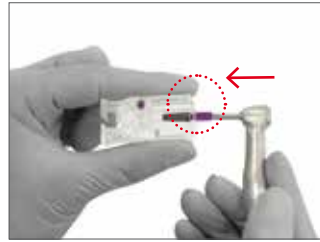
埋入ツールをまっすぐ上方に持ち上げます。



インプラント埋入

コントラアングルハンドピースでインサーションポストの装着された
フィクスチャをピックアップ

ハンドピースに装着した埋入ツール CA 用をインサーションポストに
しっかりと差し込みます。 インサーションポストと埋入ツールそれぞ
れに付けられた3つのカム溝の位置を示すマーキングが合致してい
ることを確認します。



埋入ツールを強く押し、確実に装着する!

インプラントホルダーの後ろ部分を保持し両側から力を加えフィクス
チャのロックを外します。

埋入ツールをまっすぐ上方に持ち上げます。



フィクスチャの埋入とポジショニング

埋入ツールを使用して、フィクスチャを埋入窩の上部に手で挿入します。

次に、トルクラチェットまたはコントラアングルハンドピース (15rpm以下で使用) を使用して、時計回りに慎重に最終位置まで埋入します。埋入窩の軸方向のアライメントに注意してください。

スレッドカッターにより事前に骨内にタップが形成されている場合、皮質骨上につけられたスレッド開始点とフィクスチャのスレッドがうまく合致するように埋入します。

まず最初にフィクスチャが接続されている埋入ツールをゆっくりと手指で左回転させスレッド開始点を探ります。

フィクスチャのスレッドと埋入窩に切られたスレッド開始点を合わせ、その後フィクスチャを適切な埋入深度まで埋入します。

計画された挿入深度に達すると3つのうち1つのグループを口腔前庭側に位置づける必要があります。

フォームドリルでドリリングした際にデプスストップを外して個別に埋入深度を調整した場合、フィクスチャを埋入する際には注意が必要です。

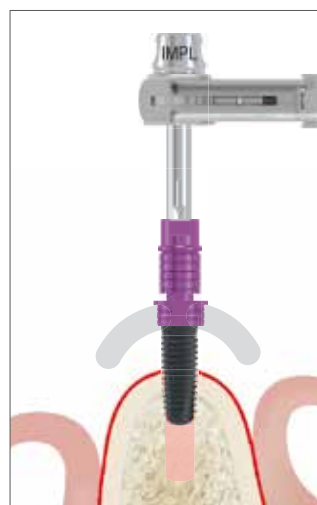
ドリルの深さに合わせるよう、フィクスチャを垂直的にポジショニングすることができます。



手によるフィクスチャの挿入
手用埋入ツール



コントラによるフィクスチャの挿入
CA用埋入ツール



手用埋入ツールとトルクラチェットによる
フィクスチャの埋入 (最大 15rpm)

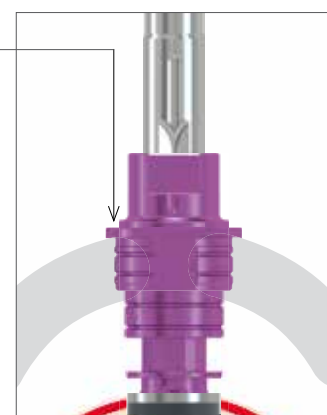


CA用埋入ツールとコントラアングルハンドピースを使用したフィクスチャの埋入
(最大 15rpm)

重要な注意事項

インサージョンポストのショルダーが、ガイドスリーブの上端面に乗る (接する) 状態まで埋入します。この位置まで埋入して初めて正確に最終的な深さまで達成したことになります。最終的な位置に達した後では、インプラントはそれ以上に深くは埋入できませんので、無理に埋入しようとして回転させ続けると、初期固定を失います。微調整が必要な場合は、一旦テンプレートを外してから行います。

最終位置：インサージョン
ポストのショルダーがス
リーブ上端面に接する

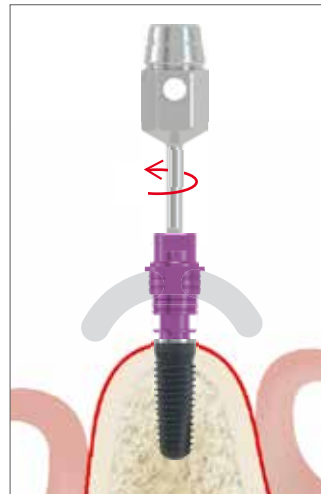


インプラント埋入

インサージョンポストとテンプレートの取り外し

埋入ツールを取り外した後、HEX スクリュードライバーでインサージョンポスト内のネジを緩め、ピンセットまたは手でインサージョンポストを取り外します（誤嚥に注意!）。

初期安定性が低い場合、インサージョンポストのねじを緩める際、インプラントの動きを防ぐためにユニバーサルリングレンチを使用してフィクスチャを固定することを推奨します。



HEXスクリュードライバーでインサージョンポスト内部のねじをゆるめ、引き抜くことができますようにします。

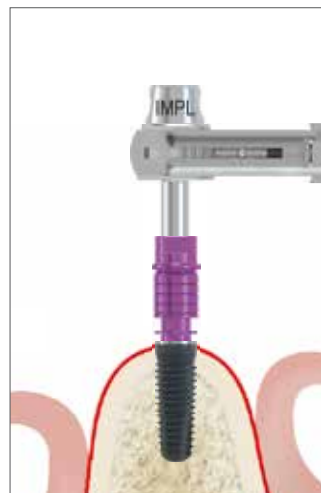
この段階で、埋入ツール上に付けられた縦溝マーキング（位置はインプラント内部のカムの位置と一致しています）が、頬側方向に向くようにポジションを調整します。あるいは、もしオペ前にアバットメント等の補綴物を作成してカムのポジションが決められている場合は、ガイドスリーブ上のマーキング（正しい方向を示すようにガイドスリーブがセットされている必要があります）と埋入ツール上の縦溝マーキングが合うようにポジション調整を行います。

インプラント位置の微調整

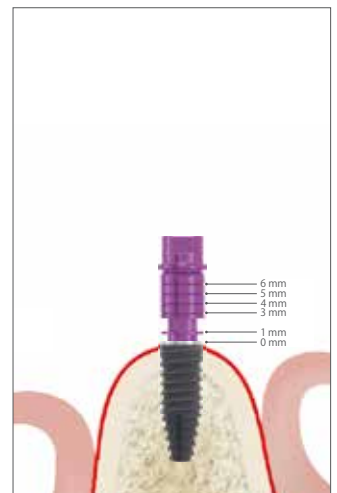
一旦最終的な位置に到達してからの最終微調整はテンプレートを取り除いた状態で行います。まず、テンプレートを外して、その後インサージョンポストを再装着してください。手用埋入ツールとトルクレンチを使用して、最終ポジションを微調整します。

注意

グループの位置決め中に、次のグループ位置(120°)まで回すと、フィクスチャが約 0.2mm 深く挿入されることに注意してください。



インプラント位置の微調整



インサージョンポストのマークは、軟組織の高さを示しています。補綴物を選択する際の参考となります。

治療

治療段階と患者への情報提供

患者には、治療期間中の措置と注意事項を説明し、創傷ケアの予約をし、患者ラベルを貼付したパシエントパスを渡します。

粘膜下治療 (2 回法)

カバースクリューは、インプラントホルダーの中央部に収納されており、フィクスチャ取り出し中にはホルダーから脱落しないようになっています。

インプラントホルダーの前の部分を再度閉じる(圧縮する) ことで(図を参照)、カバースクリューを取り出すことができます。この手順の後、カバースクリューは自由にアクセスできるようになります。この手順は、インサーションポストとフィクスチャが収納されていない状態でのみ可能になります。

HEX スクリュードライバーを使用して、カバースクリューをインプラントホルダーから直接ピックアップできます。

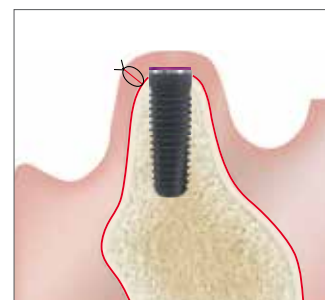
HEX スクリュードライバーでピックアップしたカバースクリューを手締めでフィクスチャに装着します (誤嚥に注意!)



カバースクリューの装着



カバースクリューが装着されたカムログスクリューラインインプラント



創傷閉鎖

治癒

歯肉貫通式（1回法）カムログ ジンジバフォーマー

ジンジバフォーマーは、頬粘膜治癒を可能にします（1回法）。ジンジバフォーマーは、インプラントの直径と歯肉の厚みに適合している必要があります。ジンジバフォーマーが完全に装着されていることを確認します。特に、インプラントショルダーとヒーリングキャップの間に組織が挟まっていないことを確認してください。粘膜はインプラントショルダーにぴったりと密着させます。

フラップを作製したら、適切な縫合糸で創縁をしっかり閉鎖します。縫合糸はあまりきつく結ばないようにします。縫合糸は、カバースクリューの上やジンジバフォーマー、プロビジョナルレストレーションの周囲で、創縁が緊張しないように配置する必要があります。

カムログ ジンジバフォーマー

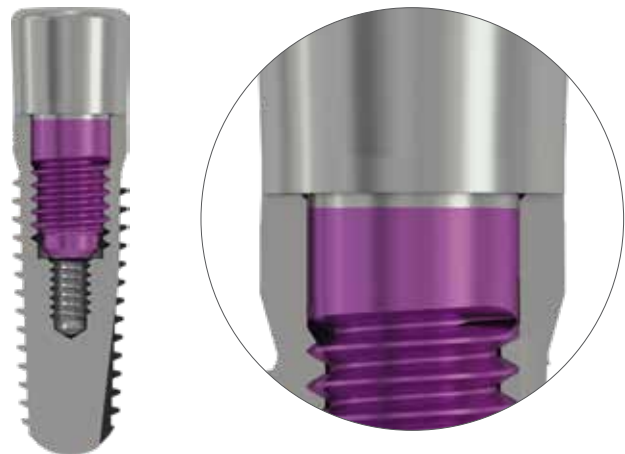
ジンジバフォーマーの使用は、インプラント周囲の軟組織の成長をサポートします。ジンジバフォーマーは、3種類の形態があります。

- シリンダー
- ワイドボディー
- ボトルネック

ジンジバフォーマーは、それぞれのフィクスチャの直径に合わせてカラーコードされています。

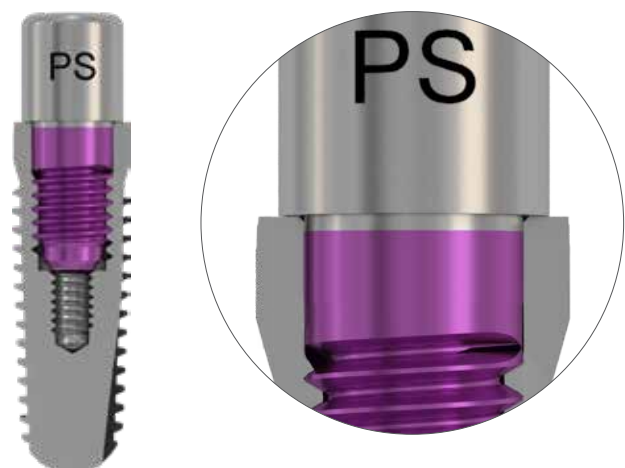
ジンジバフォーマーはフィクスチャに HEX スクリュードライバーを用いて手締めでしっかりとねじ込みます。

ジンジバフォーマーは、フィクスチャのショルダー部に外径がぴったり合って装着されます。



カムログ スクリューラインインプラントとジンジバフォーマーの接続

プラットフォームスイッチング用のジンジバフォーマー PS にもシリンダー、ワイドボディー、ボトルネックの3種類があり、フィクスチャのプラットフォームの周囲の辺縁部を被わずに装着され、フィクスチャのショルダー上の軟組織の適応を可能にします。（ $\varnothing 3.3\text{mm}$ を除く）



カムログ スクリューラインインプラントとジンジバフォーマー PS との接続

重要な注意点

ジンジバフォーマー PS を使用する場合、印象採得を含むその後の補綴修復では、組織損傷を防ぐためにプラットフォームスイッチング用補綴コンポーネントを使用する必要があります！

歯肉貫通式 (1 回法) コーンログ ジンジバフォーマー

コーンログ ジンジバフォーマー

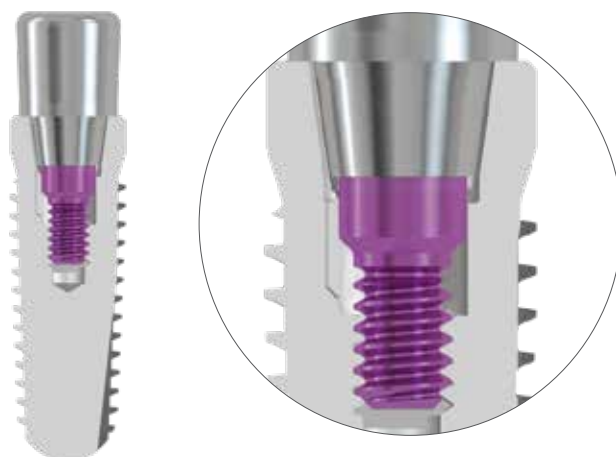
ジンジバフォーマーの使用は、インプラント周囲の軟組織の成長をサポートします。ジンジバフォーマーは、3 種類の形態があります。

- シリンダー
- ワイドボディー
- ボトルネック

ジンジバフォーマーは、それぞれのフィクスチャの直径に合わせてカラーコードされています。

ジンジバフォーマーはフィクスチャに HEX スクリュードライバーで手締めでしっかりとねじ込みます。

ジンジバフォーマーは、機械加工されたインプラントのショルダー部に収まりますが、完全に覆われるわけではありません。その結果、ショルダー部の軟組織を適合させることができます。



コーンログインプラントとジンジバフォーマーとの接続

治癒

カムログ ジンジバフォーマー

	商品名	商品コード	Ø	GH	G Ø
	カムログ ジンジバフォーマー シリンダー 材質 チタン合金	J2015.3320	3.3 mm	2.0 mm	3.3 mm
		J2015.3340		4.0 mm	3.3 mm
		J2015.3360		6.0 mm	3.3 mm
		J2015.3820	3.8 mm	2.0 mm	3.8 mm
		J2015.3840		4.0 mm	3.8 mm
		J2015.3860		6.0 mm	3.8 mm
		J2015.4320	4.3 mm	2.0 mm	4.3 mm
		J2015.4340		4.0 mm	4.3 mm
J2015.4360	6.0 mm	4.3 mm			
	カムログ ジンジバフォーマー ワイドボディー 材質 チタン合金	J2014.3320	3.3 mm	2.0 mm	4.5 mm
		J2014.3340		4.0 mm	4.5 mm
		J2014.3820	3.8 mm	2.0 mm	4.9 mm
		J2014.3840		4.0 mm	5.0 mm
		J2014.3860	4.3 mm	6.0 mm	5.0 mm
		J2014.4320		2.0 mm	5.4 mm
		J2014.4340		4.0 mm	5.5 mm
J2014.4360	6.0 mm	5.5 mm			
	カムログ ジンジバフォーマー ボトルネック 材質 チタン合金	J2011.3340	3.3 mm	4.0 mm	3.5 mm
		J2011.3840	3.8 mm	4.0 mm	4.0 mm
		J2011.3860		6.0 mm	4.0 mm
		J2011.4340	4.3 mm	4.0 mm	4.5 mm
		J2011.4360		6.0 mm	4.5 mm

GH: 歯肉の高さ
GØ: 歯肉の直径

	商品名	商品コード	Ø	GH	G Ø
	カムログ ジンジバフォーマー PS シリンダー 材質 チタン合金	K2005.3820	3.8 mm	2.0 mm	3.3 mm
		K2005.3840		4.0 mm	3.3 mm
		K2005.3860		6.0 mm	3.3 mm
		K2005.4320	4.3 mm	2.0 mm	3.8 mm
		K2005.4340		4.0 mm	3.8 mm
		K2005.4360		6.0 mm	3.8 mm
	カムログ ジンジバフォーマー PS ワイドボディー 材質 チタン合金	K2004.3840	3.8 mm	4.0 mm	5.0 mm
		K2004.3860		6.0 mm	5.0 mm
		K2004.4340	4.3 mm	4.0 mm	5.5 mm
		K2004.4360		6.0 mm	5.5 mm
	カムログ ジンジバフォーマー PS ボトルネック 材質 チタン合金	K2001.3840	3.8 mm	4.0 mm	4.0 mm
		K2001.3860		6.0 mm	4.0 mm
		K2001.4340	4.3 mm	4.0 mm	4.5 mm
		K2001.4360		6.0 mm	4.5 mm

GH: 歯肉の高さ
 GØ: 歯肉の直径

治癒

コーンログ ジンジバフォーマー

	商品名	商品コード	Ø	GH	GØ
	コーンログ ジンジバフォーマー シリンダー 材質 チタン合金	C2015.3320	3.3 mm	2.0 mm	3.0 mm
		C2015.3340		4.0 mm	3.0 mm
		C2015.3820	3.8 mm	2.0 mm	3.5 mm
		C2015.3840		4.0 mm	3.5 mm
		C2015.3860	6.0 mm	3.5 mm	
		C2015.4320	4.3 mm	2.0 mm	3.8 mm
		C2015.4340		4.0 mm	3.8 mm
		C2015.4360		6.0 mm	3.8 mm
	コーンログ ジンジバフォーマー ワイドボディ 材質 チタン合金	C2014.3340	3.3 mm	4.0 mm	4.8 mm
		C2014.3840	3.8 mm	4.0 mm	5.3 mm
		C2014.3860		6.0 mm	5.3 mm
		C2014.4340	4.3 mm	4.0 mm	5.8 mm
		C2014.4360		6.0 mm	5.8 mm
	コーンログ ジンジバフォーマー ボトルネック 材質 チタン合金	C2011.3340	3.3 mm	4.0 mm	3.3 mm
		C2011.3840	3.8 mm	4.0 mm	3.8 mm
		C2011.3860		6.0 mm	3.8 mm
		C2011.4340	4.3 mm	4.0 mm	4.0 mm
		C2011.4360		6.0 mm	4.0 mm

GH: 歯肉の高さ
GØ: 歯肉の直径

ジンジバフォーマーの使用に関する補足説明

ジンジバフォーマー シリンダー、ワイドボディー

ジンジバフォーマー シリンダー及びワイドボディーは、通法で使用されます。インプラントに装着するには、直径に対応するジンジバフォーマーをHEX スクリュードライバーを使用して手締めでねじ込みます。歯肉の高さは、ジンジバフォーマーが歯肉縁上1～1.5mmになるように選択します。フィクスチャ周囲の軟組織が安定した状態になると印象採得を行います。



ジンジバフォーマー シリンダー



ジンジバフォーマー ワイドボディー

プラットフォームスイッチング用ジンジバフォーマー (PS タイプ) シリンダー、ワイドボディー

スクリーラインインプラント プロモートプラスは、プラットフォームスイッチングに適しています。アバットメント接合部におけるアバットメント側の径が小さくインプラントショルダー上に軟組織が適合するようになります。

インプラント-アバットメント接合部がショルダーの高さでインプラント軸に向かって水平方向に移動することによって、軟組織の厚みを維持するスペースを確保することができます。



ジンジバフォーマー PS シリンダー
高さ 4.0 mm



ジンジバフォーマー PS ワイドボディー



ジンジバフォーマー PS シリンダー
高さ 2.0 mm 粘膜下治療

治癒

ジンジバフォーマー ボトルネック

審美的な修復が要求される部位には、ボトルネックタイプのジンジバフォーマーを使用することによって最良の治癒結果を得ることができます。このジンジバフォーマーの形状は歯冠方向に細くなっており、軟組織が治癒期間に厚く成長するのを促進します。

3～4週間後（および弾性繊維の最終組織化が完了する前）にシリンダータイプのジンジバフォーマーに交換します。この段階で歯肉切除は行いません。ジンジバフォーマーを装着すると歯肉が歯冠方向に圧迫され歯間乳頭の形が形成されます。周囲の軟組織が安定した段階で印象採得を行います。



治癒段階



軟組織の成長



シリンダータイプのジンジバフォーマーに交換することで歯肉が歯冠方向に押し広げられる

重要な注意点

軟組織を損傷することがないように、PSタイプのジンジバフォーマーから交換する場合は、必ずPSタイプのジンジバフォーマーを使用してください。



ボトルネックタイプのジンジバフォーマー PS による治癒段階



ボトルネックタイプのジンジバフォーマー PS による軟組織の成長



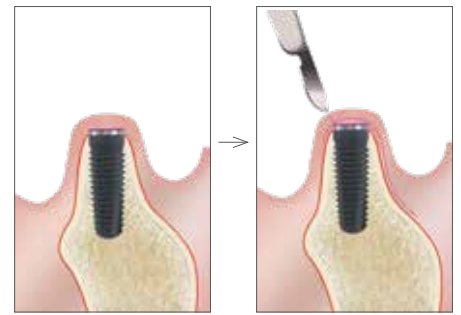
シリンダータイプのジンジバフォーマー PS に交換することで歯肉が歯冠方向に押し広げられる

軟組織の成長 / 軟組織のサポート

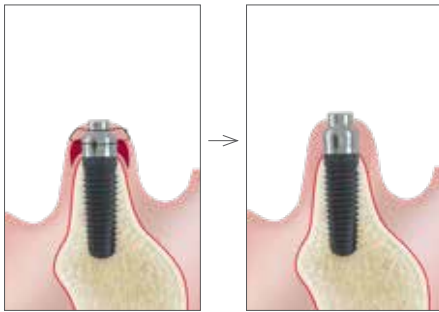
一回法 (歯肉貫通)



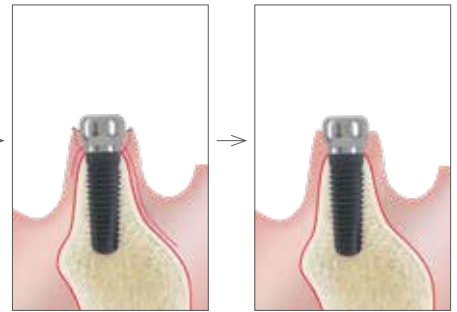
二回法 (粘膜下)



ボトルネックタイプ
軟組織の再生治癒 - ステップ 1

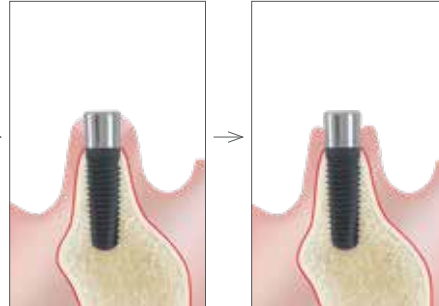


ワイドボディータイプ
軟組織のサポート

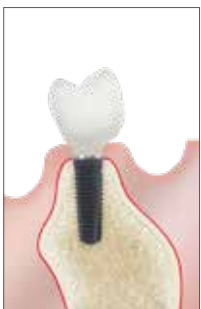


オプション

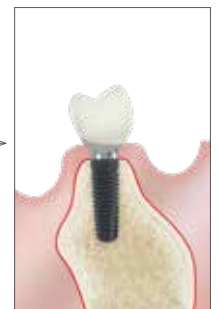
シリンダータイプ
軟組織の再生治癒 - ステップ 2



暫間補綴
テンポラリーアバットメントによる補綴物



最終修復物
アバットメントと上部補綴物



カムログアパットメント
カムログインプラント K- シリーズ
カムログスクリューインプラント
コーンログインプラントシステム
カムログ レンチ
カムログ インプラント手術器具
カムログ インプラント補綴用器具
カムログガイドジンジバパンチ
インプラントアナログ
カムログガイドドリル
カムログガイド ツール
HEX スクリュードライバー 0.05 インチ

医療機器承認番号 【高度】 21200BZY00583000
医療機器承認番号 【高度】 22200BZX00868000
医療機器承認番号 【高度】 22800BZX00286000
医療機器承認番号 【高度】 22900BZX00154000
医療機器届出番号 【一般】 27B1X00027000005
医療機器届出番号 【一般】 27B1X00027000012
医療機器届出番号 【一般】 27B1X00027000026
医療機器届出番号 【一般】 27B1X00027000062
医療機器届出番号 【一般】 27B1X00027000081
医療機器届出番号 【一般】 27B1X00027000119
医療機器届出番号 【一般】 27B1X00027000120
医療機器届出番号 【一般】 27B1X00027000127

販売元 株式会社アルタデント

本 社 〒530-0012 大阪市北区芝田2-8-31 三層ビル112F TEL (03) 6377-2221 FAX (03) 6377-2223
支店 〒108-0047 東京都港区麻布台2-14-10 オキナビル3F TEL (03) 6420-2290 FAX (03) 6420-4790

製造元 ALTATEC GmbH Maybachstr. 5, 71229 Winnenden, Germany

TEL:03-6377-2221

camlog

株式会社 アルタデント

www.alta-dent.com